

申込不要

「地域をつむぐ医療文化」を語る会

テーマ 「英国式 人生最終段階のケア」

～ Gold Standards Framework 戦略～

講演者 英国Gold Standards Framework(G S F代表)

Keri Thomas 教授 (日本語通訳あります)

日時 平成27年**6月18日** (木)
18:00～19:30

場所 京都府医師会館
3階310会議室 (大ホール)

参加対象者 医師、医療や介護にかかわる多職種

プログラム

18:00～18:15

千田 一嘉医師 (国立長寿医療研究センター在宅連携医療部)
よりThomas教授とわが国におけるGSFの意義の紹介
「地域包括ケアシステム構築の要、高齢者、家族の安心安全の
ためのプラチナな人生最終段階のケア」

18:20～19:10 Thomas教授講演

19:10～19:30 質疑応答



超高齢社会のわが国で地域包括ケアシステムの構築には、人生の最終段階のケア(EOLC)の拡充が、喫緊の課題です。

英国GSF戦略は、1. 患者視点でのEOL患者の早期同定、2. アドバンス・ケア・プランニング(ACP)取得、3. 質の高いEOLC提供の三段階からなります。

「驚きの質問」で患者さんの視点に立脚したEOLCが始まります。

GSF戦略は多職種協働を促進し、多職種の賛同者を増やし、避け得る緊急入院を減らし、QOLを向上し、医療費は削減しました。

GSF代表のThomas教授からGSF戦略の本質を伺います。

【共催】

○国立研究開発法人国立長寿医療研究センター
在宅連携医療部
Tel:0562-46-2311 (内線:6215)
Fax:0562-46-5268

○一般社団法人京都府医師会
在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
Tel:075-354-6079/Fax:075-354-6074

講師紹介

【略歴】

The Royal London Hospital Medical School卒業
総合診療専門医 (GP)として地域医療を支え、ホスピス・ケアにも従事
University of Birmingham名誉教授 (EOLケア)

2001年Gold Standards Framework設立
Train-the-trainer (指導者を育てる) 戦略で、全英で人生最終段階に近づく人々に黄金の (GOLD)ケア方法を総合診療専門医に広める草の根運動を展開
2008年には英国保健省の公式プログラムに採用
2010年には英国保健省から独立した人生最終段階のケアの研修・認定機関となる
2010年International Society for Advance Care Planning and End of Life Care (ACPEL) を設立

【著書】

“Caring for the Dying at Home” (2004)
(死にゆく方々の在宅ケア)

“Advance Care Planning in End of Life Care”
(人生最終段階でのアドバンス・ケア・プランニング)
(2010) など多数。



在宅連携医療部/長寿医療研究開発費27-6

「日本版gold standards framework戦略にもとづく地域包括ケアシステムに関する研究」からのお知らせ